



すべてに ^{やさ}優しく

いつまでも ^{ゆとり}悠 ^{ある}ある

やすらぎの ^{ばは}色 ^ででありたい



2025
新年

号

「今日も楽しかった」と
言っていただけのように…

2025年

新年の

ごあいさつ

社会福祉法人 杉和会

特別養護老人ホーム優・悠・邑 和合

理事長 総合施設長 若山 宏

巳年は私の干支であり、ますます頑張らなければいけないという気持ちで年明けを迎えました。とは言え、介護を取り巻く状況には厳しさを感じざるを得ません。世間一般に言われている物価高騰の波は否応なしに押し寄せています。また、人材に目を向けても厳しい状況は続いています。介護報酬改正は三年に一度であり、昨年四月に改正されたばかりで改正までには二年以上待たなければなりません。昨年実施された衆議院の総選挙では与野党共に最低賃金1500円と謳っていますが、岐阜県の最低賃金は昨年の十月に1001円になったばかりで、1.5倍に賃上げする根拠は全く見えていません。こんな状況のなか一般企業との賃金格差は開くばかりで、賃金比較でも魅力のない業界になってしまっています。介護を魅力ある業界にして社会的評価を上げるために私の立場で出来ることを精一杯頑張っていく所存です。

当法人の事では、盲養護老人ホーム優・悠・邑 和の事業展開を三十床から八十床での健全な運営が出来るように、いろんな方々の理解を得ての対応にしていきたいと思えます。単に健全経営をするだけではなく、当法人の『すべてにやさしく いつまでもゆとりある やすらぎのばしょでありたい』と共に『今日一

日楽しかったよ』の実践を職員一丸となって進めて参りますので今年も昨年同様、宜しくお願い致します。

特別養護老人ホーム優・悠・邑

施設長 水野 貴子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も変わらず皆様の温かいご支援のおかげで地域向けの祭りも開催する事が出来ました。また、施設行事においてもボランティア・家族会のご協力もあり、以前の様な催しが少しずつ実施できるようになってまいりました。しかしながら面会など、まだまだ不十分な面もありますが、できる限り配慮しつつご家族の想いが叶えられるようにしていきますので、よろしくご理解ください。

最後になりましたが、今年も皆様の幸せを祈りつつ利用者様・入所者様の幸せな生活「今日一日楽しかったよ」と思っていただけのような生活援助が出来るように職員一同、日々努力してまいりますので今後とも当施設へのご支援・ご指導よろしくお願い致します。



盲養護老人ホーム優・悠・邑 和(なごみ)

施設長 吉澤 進治

新年を迎え、皆様方にお祝いの言葉を申し上げます。

旧年は当法人、盲養護老人ホーム優・悠・邑 和(なごみ)に対して、温かいご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

旧年は、石川県において地震、豪雨と大きな災害が発生し、私自身も現地にて復興支援に参加させていただきました。いつもと変わらない生活の大切さを実感し、またいつ起こるかもしれない天災に対して準備が必要だと再度認識致しました。

盲養護老人ホーム優・悠・邑 和も、四年目を迎える全職員のがんばり、成長のおかげで施設の充実を感じております。今年度も旧年同様に「今何をすべきか」を常に念頭に置き、全職員と話し合いながらより良い施設づくりを進めていきたいと思えます。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。



特別養護老人ホーム優・悠・邑

副施設長 五次 隆之

新春を迎え、お慶び申し上げます。

昨年末にはガソリンの値段も上がり、いろんなところで物価高騰を身近に感じるようになっていました。支出が増える分、稼働率アップ、節約などで収入を増やすことに取り組んでいきます。

人材については、給与に関して介護職員の処遇改善の取り組み、業務に関してはICT（情報通信技術）や介護ロボットの活用などによって、以前から言われているこの業種のイメージとは変わってきており、働きやすい職場となっています。それを的確に伝えることにより、就職希望者を増やしたいと考えています。現在は外国人の職員も増え、日本人と一緒に頑張っています。

令和六年度より、介護事業者の経営情報を報告する制度がはじまりました。また、今年の四月と十月には「育児・介護休業法」が段階的に施行されることになっています。新しい制度や法律に対しても、間違いがないように取り組んでいきます。

防災対策、入居者の方のマイナンバーカードの取り扱いなど、取り組まなければいけない課題は他にもあります。このような事務作業が支障なく行えるように努めますので、みなさんのご理解、ご協力をお願い致します。



特別養護老人ホーム優・悠・邑

副施設長 吉田 篤

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

当施設の副施設長を拝命し、一年半が経ちました。私の役割は施設に入所や利用される方々の最初の顔合わせをさせていただき、今までの生活や介護が必要になってからのお話を伺い、施設での生活に繋げる事だと思っております。また、安定した稼働率を確保する事で、皆様の生活が豊かになるようにする事も大切な役割だと考えております。

杉和会に入り、二十三年が経過しようとしておりますが、職員をはじめ、今まで関わらせていただいた入居者や利用者の皆様はもちろんの事、ご家族や地域の方々々に教えられ、励まされ、時には厳しい言葉もいただき、成長させていただきました。

利用者の皆様の負担軽減と同時に職員の業務の負担軽減ともなるICTや介護ロボットの導入により、良い方向に進んでいると実感していますが、まだまだ改善の余地はあると感じております。介護業界の発展のためにも積極的に取り組んでいきたいと思っております。今までと同じように皆様に育てていただくと謙虚な気持ちを忘れず、日々是精進してまいりたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



特別養護老人ホーム優・悠・邑 和合

副施設長 伊藤 良明

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は優・悠・邑 和合に對してご入所者様・ご家族様ならびに地域の皆様から温かいご支援とご協力を賜り、無事に新春を迎えることができました事を心よりお礼申し上げます。今年も、コロナ以前に実施してきた楽しいイベントをさらに良いものにするための改善の年になると思っております。

新体制となり今月で一年半を迎えます。この間に、一旦コロナでゼロベースになってしまった楽しいイベントを感染症予防しながら、ご入所者様・ご家族様、地域の皆様にも楽しんでいただける取り組みになるように挑戦してきました。楽しくするために頭を悩ませて参りましたが「やってみないと分からない」との職員共通認識のなかで安全に配慮しながら挑戦した結果、得るものが多くありました。この反省を生かしながら四月の新しい年度から良いスタートを切り、準備に時間を掛けてより楽しいイベントを実施していきます。今後ともご指導・ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い致します。

